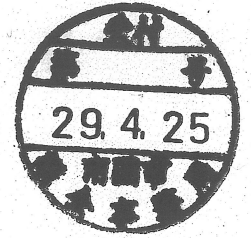


別記様式(第5条関係)



平成 29年 4月 25日

南国市議会議長

西岡 照夫 様

議員名

岩松 永治



平成 28 年度政務活動費収支報告について

南国市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項に基づき、別記様式・その2
のとおり平成 28 年度政務活動費収支報告書を提出します。

政務活動費収支報告書

議員名 岩松 永治

平成 2 8 年 度 政 務 活 動 費 収 支 報 告 書

1 収 入

政務活動費 120,000 円

2 支 出

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	55,730	行政視察経費
研 修 費	79,000	研修経費
広 報 費		
広 聴 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
合 計	134,730	

3 残 額 0 円

(注) ・備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

・旅費の額は、南国市議会議員の議員報酬等に関する条例（平成20年南国市条例第21号）の規定に準じ算定する。

整理 番号	月日	項目	摘 要	収入金額	支出金額	差引残高
	4.28		政務活動費	120,000		120,000
1	11.15	1	宮崎県綾町～熊本県視察 (11.14～11.16) 旅費		55,730	64,270
2	3.30	2	東京都研修議員 (3.30～3.31) 旅費		79,000	△14,730

※項目… 1. 調査研究費 2. 研修費 3. 広報費 4. 広聴費 5. 要請・陳情活動費
6. 会議費 7. 資料作成費 8. 資料購入費

政 務 活 動 記 録 簿

議員名 岩松永治

整理番号	1	項目	①. 調査研究費 4. 広聴費	2. 研修費 5. 要請・陳情活動費	3. 広報費 6. 会議費	
年月日	平成 28年 11月 14日(月)～平成 28年 11月 16日(水)					
相手方・調査先等	行政視察「活気のある町(地域)づくりについて」(宮崎県 綾町) 「避難所運営・熊本城の復興支援について」(熊本県)					
場 所	宮崎県綾町役場、熊本県生涯学習センター、熊本城					
活動内容等(目的、内容、結果、所感等を記入)	<p>目的 南国市全体の地域づくりに役立てるため</p> <p>内容 綾町の活気ある町づくりの取り組み状況視察</p> <p>結果 綾町は、ふるさと納税品目を増やすなど、地場産品を積極的に取り入れ、雇用も増えていることから、南国市も参考にして検討する必要がある。</p> <p>所感 町長自らが住民との対話を積極的にしており、住民要望が素早く施策に活かされている。それにより、住民との信頼関係も強い。</p> <p>目的 南海トラフ地震を想定し、今後に活かしていくため</p> <p>内容 熊本地震後の被災状況、避難運営(課題や取り組み)を今後に活かすための視察</p> <p>結果 避難所運営に正解はないが、現状の対策に満足することなく、課題を掘り起こし、万が一に備える必要がある。車中泊の対策も必要。</p> <p>所感 地震の恐ろしさを改めて感じた。避難所運営、救援物資の受け入れについても課題が多いと感じた。地域で訓練など積極的に取り組んでいくことが、有事の際の混乱を減少させる一番の方法だと感じた。</p>					
活 動 に 要 した 経 費	行き先	利用交通機関	積算	金額(円)		
	龍馬空港～宮崎 空港	航空機		} 37,930		
	宮崎～熊本	JR				
	熊本～福岡	JR				
	宿泊費	宿泊代 7,800 (11/14) 10,000 (11/15)		17,800		
	日 当					
	その他					
	合 計			55,730		
	備 考					

※活動内容等について、スペースが足りないときは、別途報告書を添付してください。

政 務 活 動 記 録 簿

議員名 岩松永治

整理 番号	2	項目	1. 調査研究費 4. 広聴費	②研修費 5. 要請・陳情活動費	3. 広報費 6. 会議費
年月日	平成 29 年 3 月 30 日 (木) ~平成 29 年 3 月 31 日 (金)				
相手方・ 調査先等	議員研修「来年度に使える質問の題材」(東京都) 「健康施策の推進について」(東京都)				
場 所	東京都 アットビジネスセンター八重洲通り				
活動内容 等(目的、 内容、結 果、所感等 を記入)	<p>目的 平成 29 年度に向けて様々な課題を把握し今後活かすため</p> <p>内容 来年度に使える質問の題材として、子どもの貧困対策、画期的なふるさと納税推進策について、健康施策の推進について</p> <p>結果 南国市の現状を再確認する必要がある。</p> <p>所感 子どもの貧困問題は多岐に渡る。子ども食堂等の取り組みも必要であるが、現状と課題把握が必要。なぜなら「貧困」という言葉だけが一人歩きして、市民に分かりづらい。その他の貧困についても細かく調べる必要があると感じた。ふるさと納税については、返礼品の競争が過熱し、ふるさと納税の意義が薄れている。例えば、税収を子育て支援に多く充てることで、移住促進=人口増にも繋がる。「ふるさと納税=物」と捉えるのではなく、「物語」に繋げられる施策を提案していきたい。健康問題では、医療費増が全国でも問題となっている。少子高齢化が進む中で、高齢者(シニア)世代の就業率を高めることが医療費削減にも繋がると感じた。就業できる場の確保、提供を今後の課題として取り組みたい。</p>				
活 動 に 要 し た 経 費	行き先	利用交通機関	積算	金額(円)	
	龍馬空港~羽田 空港	航空機		}	49,000
	羽田空港~龍馬 空港	航空機			
	研修費				30,000
	宿泊費	※交通費 49,000 円に含む(パック代)			
	日 当				
	その他				
		合 計			79,000
備 考					

※活動内容等について、スペースが足りないときは、別途報告書を添付してください。